

# 令和6年度子育てサポーター養成講座

第1回 6月20日(木) 「家庭教育支援の理解」

講師：親業訓練インストラクター 波多野 ゆか 氏



## 【受講者の声】※抜粋

- ・子育てサポーターがどのような活動かよく理解しないまま参加したが、回を重ねながら学んでいきたいと思う。
- ・良い機会をいただき、2回目、3回目も楽しみにしている。
- ・今日参加させていただいて良かった。楽しく学ぶことができた。
- ・ワークショップがあることで、実感、落とし込めた。様々な子育て支援で子どもを支えていきたい。

第2回 6月26日(水) 「親子の理解とかわり方」

講師：個育てコーチング協会 代表理事 西城 あや 氏



## 【受講者の声】※抜粋

- ・最近「他人軸」「自己肯定感」という言葉を知った。私が小さい時は「〇〇ちゃんはできているのに、あなたはできないの？」等、比較されていたことを思い出す。今日、先生のお話を聞いて良かった。
- ・子育てしていて、コーチングや発達について学べる機会が全くない。町の母親教室も閉鎖的で、参加する人が限られている。今日の内容は、子育て中の親に受けてほしい内容だった。(私自身3歳児の母です)
- ・2回目の講義もとても分かりやすい内容であった。先生の日常のお話が、講義の内容をより理解しやすいものにしていて。また、自分の子育てや以前の仕事の経験とリンクし、自分も子育てサポーターとして活動できるのではないかと思えた。「発達」の部分は、子どもたちの活動に思い当たる部分が多くあり、役に立つと思った。



【受講者の声】※抜粋

- ・父親の役割の大切さと問題点をわかりやすく講義していただいた。3回の講習、とても有意義なものになった。
- ・今日も非常によい内容の講義をいただいた。3回を通して、最初の1回の冒頭で「子サポ」とは、組織、役割があると良いと思えた。また3回の講座で、これでサポーターとして活動であろうかなどの不安もある。ハードルは低く、広く多くの方に関わっていただく必要があると思うが、より実践的なワークショップがあるとよいのではないかな。
- ・児童館、公民館、学校、地域など、それぞれの専門性や役割に対して得るものがあった。役立てたい。
- ・自分の中でモヤモヤと感じたり、考えたりしてきたことが言葉になったように思う。
- ・教育法と児童福祉法が手を取り合うことが重要ではないかと感じた。3回とも大変勉強になる内容だった。その分、本講座の趣旨を考えると、受動的に聞いた私たちが、すぐに目的の行動に移すのは難しいとも感じた。